

## 初山別村地球温暖化対策実行計画の点検について

### ◆初山別村地球温暖化対策実行計画第4章2に伴う点検

平成25年度（基準年度）と令和4年度（2022年度）の温室効果ガス排出量（CO<sub>2</sub>）を比較したところ、次のとおりの結果となった。

また、第3次計画までの基準である平成18年度についても比較を行うこととする。

CO<sub>2</sub>比較表 (単位: kg-CO<sub>2</sub>)

	H25 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H25 基準年度)
CO <sub>2</sub>	1,020,583	860,461	△160,122	△15.7%

	H18 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H18 基準年度)
CO <sub>2</sub>	1,052,395	860,461	△191,934	△18.2%

CO<sub>2</sub>は、基準年（平成25年度）と比較し、15.7%の減となった。

◎分析 (単位: kg-CO<sub>2</sub>)

	H25 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H25 基準年度)
ガソリン	22,739	17,303	△5,436	△23.9%
灯油	311,875	336,984	25,109	8.1%
軽油	73,830	69,190	△4,640	△6.3%
重油	0	0	0	0%
ガス	1,207	1,235	28	2.3%
電気	610,932	435,749	△175,183	△28.7%

	H18 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H18 基準年度)
ガソリン	30,361	17,303	△13,058	△43%
灯油	279,175	336,984	57,809	20.7%
軽油	51,279	69,190	17,911	34.9%
重油	120,053	0	△120,053	△100%
ガス	1,487	1,235	△252	△16.9%
電気	570,040	435,749	△134,291	△23.6%

- ・温室効果ガス排出係数の見直し、基準年度の変更（平成18年度から平成25年度へ変更）によりCO<sub>2</sub>排出量の増減が大きくなった。
- ・ガソリン・電気利用量の減少に伴いCO<sub>2</sub>排出量が減少した。これは新型コロナウイルス感染症拡大により、各行事やイベントが中止になったことが原因であると考えられる。

- ・重油は平成 21 年以降、ストーブを重油式から灯油式に移行したため、使用頻度は少なく CO<sub>2</sub>排出量も少ない。令和 3 年度（2021 年度）は重油の使用はなかった。

※参考（H18 計画策定時に未稼働の豊岬浄化センターを除く値）

CO<sub>2</sub> 比較表

（単位：kg-CO<sub>2</sub>）

	H18 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H18 基準年度)
CO <sub>2</sub>	1,052,395	830,907	△221,488	△21%

○対象

- ・村が管理する公共施設（指定管理施設は除外）、公用車

## 平成 25 年度と令和 4 年度(2022 年度)の温室効果ガス排出量の比較

(単位 : kg-CO<sub>2</sub>)

	H25 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H25 基準年度)
CO <sub>2</sub>	1,020,583	860,461	△160,122	△15.7%

	H18 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H18 基準年度)
CO <sub>2</sub>	1,052,395	860,461	△191,934	△18.2%

▽基準年度 (H18) と比較し、温室効果ガス排出量は 15.7%減少となっている。

(単位 : kg-CO<sub>2</sub>)

	H25 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H25 基準年度)
総務課	130,032	125,922	△4,110	△3.2%
住民課	26,366	26,899	533	2%
経済課	435,927	379,366	△56,561	△13%
教育委員会	428,258	325,331	△102,927	△24%

	H18 基準年度	R4 実績	差 引	%(差引÷H18 基準年度)
総務課	108,631	125,922	17,291	15.9%
住民課	28,836	26,899	△1,937	△6.7%
経済課	374,749	379,366	4,617	1.2%
教育委員会	540,179	325,331	△214,848	△39.8%

▽各課の CO<sub>2</sub> 排出量は、小数点以下第一位を四捨五入しているため、実績の合計値と合わない場合がある。

▽基準年度 (平成 25 年度) と比較し、全体的に減少となった。

▽教育委員会は平成 18 年に存在していた学校の閉校により、CO<sub>2</sub> が大幅減少したと考えられる。

※分析 主な増減 (平成 25 年度と比較)

- ▼ガソリンは、全体で 5,436 kg-CO<sub>2</sub> が削減された (2,343 L 削減)
- ▼灯油は、全体で 25,109 kg-CO<sub>2</sub> が増加した (10,084.1 L 増加)
- ▼軽油は、全体で 4,640 kg-CO<sub>2</sub> が削減した (1,798.2 L 削減)
- ▼ガスは、全体で 28 kg-CO<sub>2</sub> が増加した (9.2kg 増加)
- ▼電気は、全体で 175,183 kg-CO<sub>2</sub> が削減された (127,353kWh 削減)

## 電気使用量

(単位 : kWh)

	H25 基準年度	R4 実績	差 引
総務課	91,654	81,656	△9,998
住民課	19,067	22,623	3,556
経済課	658,904	615,623	△43,281
教育委員会	339,145	261,515	△77,630
合 計	1,108,770	981,417	△127,353

	H18 基準年度	R4 実績	差 引
総務課	84,574	81,656	△2,918
住民課	20,658	22,623	1,965
経済課	516,340	615,623	99,283
教育委員会	405,527	261,515	△144,012
合 計	1,027,099	981,417	△45,682

▽教育委員会の電気使用量の減少は、平成 18 年時点に存在した学校が閉校したものである。